

2015年9月3日 掲載 カーゴジャパン

第一貨物

「第56回運転技能競技大会」を開催

法令遵守、安全意識の高揚など目的、日頃の技能を競う

第一貨物（本社・山形県山形市、武藤幸規社長）は8月2日、3日の2日間、同社中央研修所（山形県天童市）で「第56回運転技能競技大会」を開催した。

同社では、プロドライバーとしての社会的責任を深く自覚し、法令遵守と安全意識を高めるとともに、事故発生をなくすことを目的として同大会を毎年開催している。競技は団体の部と個人の部に分かれ、参加者たちは日頃磨いた技能を競い合った。

競技種目はトラック部門（大型車増ト車、普通車4ト、普通車2ト）とフォークリフト部門の2部門に分かれ、40名（各支社の運転技能競技大会の優勝者）他、関係会社8名の選手が出場した。

トラック部門では「学科試験」「運転

実技」「日常点検」「省燃費運転」の4種目で競技が行われた。「学科試験」の内容は①法規、運転常識②車両構造③業務知識（輸送品質・営業関係・労働災害防止）の3項目だった。「運転実技」の内容は①基本運転②交通マナー③交差点通行方法④その他（喚呼運転・左折時一時停止の実施）の4項目だった。「日常点検」の内容は①点検の実施内容②不良個所の発見の2項目。「省燃費運転」の種目内容はその実施だった。

フォークリフト部門では「運転実技」が種目となっており、内容は①基本運転②積み取り、取り卸し、その他の2項目だった。

団体の部の優勝は山形支社Aチームだった。準優勝は名古屋支社、第3位は東京支社だった。



当日の大会の様

個人の部の優勝者は次の通り。大型車増ト車の部は山形支社Bチームの杉田庄司選手。普通車4トの部は仙台支社Bチームの菊池悟選手。普通車2トの部は東京支社Aチームの千葉陽介選手。フォークリフト部門は山形支社Bチームの中野智選手。また、省燃費運転奨励賞を3選手が受賞し、関係会社奨励賞を3選手が受賞した。